

～はじめに～

今年3月11日に発生した東日本大震災は、日本に暮らす私たちにかつてないほど大きな傷跡を残しました。日本における観測史上最大とされる地震と引き続き沿岸部を襲った津波による死者・行方不明者は合わせて2万人近くにおよび、更に多数の方々が家族や住まいや生活基盤を失いました。尊い命を亡くされた方々とそのご遺族の方々に対しまして、あらためて心から哀悼の意を表します。



地震と津波に引き続き発生した福島第一原子力発電所の事故は、環境中に大量の放射性物質を飛散させる一方で、首都圏を中心に深刻な電力不足をもたらしました。また、中部電力浜岡原子力発電所の全面稼働停止は、愛知県民の日常生活や産業活動に極めて重大な影響を及ぼしました。今回の震災は、私たちに、改めて、安全で安心して暮らせる社会の大切さを気づかせてくれました。本県としても、県民の皆様の安全・安心な社会を確保するための諸施策を引き続き推進していく決意です。

さて、昨年10月、本県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)では、生物多様性の保全に向けた新しい世界目標である「新戦略計画・愛知目標」が策定されました。本県は、COP10開催地として、また、新戦略計画に名を残す地域として、その名に恥じない生物多様性に配慮した地域づくりを進めるため、今年度から、COP10理念継承事業を行っており、この事業の概要につきましては、本白書の第1部に特集として掲載しています。

この白書が、愛知の環境についての理解と関心を助け、また、県民、事業者、民間団体の皆様がそれぞれの立場から環境保全の取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

平成23年12月

愛知県知事 大村秀章